

# 出羽商工会 工業部会研修会

平成二十三年一月十四日、変革の時代への意識改革・技術の向上と会員相互の交流による活性化を目的とし、出羽商工会工業部会員研修会があつみ温泉萬国屋を会場に開催され、七十二名の会員が参加いたしました。

## ● 県産材の販路の安定化と需要拡大を ● 図る新たな取組みを進める

始めに温海町森林組合 管理課長 鈴木伸之助氏より「地域産材の需要拡大をめざして」と題し講話をいただきました。鶴岡市は東北一の森林面積を持っていますが、昭和五十五年をピークに長期に亘る木材価格の低迷が続き七分の一までさがり、さらに高齢化・後継者の不在、山村離れにより間伐の遅れ、伐採跡地の放置、森林境界の不明化等が進行し、木材需給は不安定な生産構造となっております。

このような現状から、国・県でも木材利用を促進する政策が施行されるようになり、県産材の需要の掘り起こしに向けた取組みが始まっています。

温海町森林組合でも森林・林業・木材産業の再生に向け、資源の有効活用を図るとともに、低コストの木材安定供給を行うことを目指し、県境を越えた連携を行い、地域産材の「新たな製造・流通システム」を構築し、販路の安定化と需要の拡大を図る新たな取組みを進めている、このお話をいただきました。



温海町森林組合 管理課長 鈴木伸之助氏

## ● ● ● 企業経営は志を高く持つて！

続いて株式会社ウエノ 代表取締役 上野隆一氏より「雇用は希望から」と題し講話をいただきました。

(株)ウエノは常に経営革新に取組んでおり、その中で下請けからメーカーへの転身、世界初の自動巻き線機の開発、百人の雇用を行った酒田工場開設、これらの取組みについて講話をいただきました。

(株)ウエノは昭和五十七年に二次下請けとして創業し、平成七年メーカーへと転身します。下請けからメーカーへとというのは簡単なことではなく、営業機能、開発機能、資材調達機能などメーカーとして備えなければならぬ機能を充たす必要があります、それらを全て一挙に解決することは不可能なことであり、クリアするためには課題を一つ一つ分断、細分化し解決できるレベルに落とし込み知恵を絞ることが肝要と説明。また、自社の武器は何かと考え「低価格」に設定し、業界初のホームページに価格表示をするということによって大きな反響を得、シェア日本一を獲得するに至ります。低価格にするには安く作らなければならず、人件費を削減するため刑務所・中国・北朝鮮へと製造の委託を行いました。さらに、コスト削減と製造スピードの向上、品質のばらつきをなくすため、業界では出来ないと考えられていた世界初の自動巻き線機の開発を

行いました。

そして、短納期、小ロットの製品はコスト面において国内製造が可能ではないか、との発想から県の「ものづくり国内回帰人材育成事業」の支援を受けて百人規模の雇用を行い昨年酒田市に新工場を開設しました。今回の講演においても、来年(二〇二二年)には、シェア世界一に成る、と確約しましたが、上野氏は自身が行っていることを多くの人に知ってもらい、自分へプレッシャーをかけ、責任意識をあげるということが重要だと言います。世の中が悪いと他人のせいにするのではなく、企業の業績は経営者(自分)の判断であり、心の問題であるとし、常に志を高く持ち続けていきましようとの研修会を締めくくっていただきました。



(株)ウエノ 代表取締役 上野隆一氏